



校訓：いきおい うるおい まとまり

令和3年度

連南中だより

倉敷市立連島南中学校



第20号

令和4年2月14日

その時あなたはどうか？ ～気持ちと行動、人間力～

突然ですが、あなたが次のような場面に出会ったらどうしますか。

友達と二人で下校中、ランドセルを背負った小学1年生の男の子が道端に立っていました。気になってのぞき込むと、男の子はおでこにポッコリたんこぶができていて、とても痛そうでした。「何かあったの？」と聞くと、男の子は「何でもありません。」と答えました。でも心配だなあ……。

本校2年生男子生徒が出会った実話です。この後、一人の生徒が男の子を背負い、もう一人の生徒が荷物を持って、男の子を家まで送り届けました。道中話す中で、男の子がこけて、おでこを強打したことがわかり、母親に引き渡す時にそのことを伝えたそうです。

翌日母親から中学校に「名前がわからないのですが、中学生のお兄さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。」と連絡がありました。

地域の方から「交通マナーが悪い」と、たまに苦情電話をいただきますが、このようなうれしい電話もあるのだなど、心が温かくなりました。続いてもう一件。

下校中、近所のお年寄りが自転車でこけて倒れていました。意識がなさそうでした。

これも本校の生徒の実話です。この生徒は、急いで帰宅し、家族に伝えて救急車を呼び、警察にも連絡しました。人の命を助けようとする尊い行為でした。なかなかできることではありません。ここで、彼らのとった行動は、次の二つに支えられていました。

(1)「傷ついている人や困っている人をそのままにしないという優しさ」

(2)「声をかける、おんぶして家まで送る、家族に伝える等の判断力・行動力」

さらに素晴らしいと感じたのは、「当たり前のことをしてだけ、という謙虚さ」

いつ何時、だれがどこでこんな場面に出会うかわかりませんが、その時あなたは傍観者になるのか、冷静に行動するのか？いざとなったら、慌ててパニックになって、固まってしまうかもしれません。「なんとかしなきゃ。でも、どうしたらよいか分からない。」そういう時は、近くにいる人に助けを求めましょう。それも行動力です。

こういう場面に適切に対応できる力、生きていく上で必要な人間力を少しずつ身につけていきたいですね。(校訓「いきおい」「うるおい」が額縁の言葉で終わらないように！)

ヘルプマークを知っていますか？

右のマークを見かけたこと、ありませんか？

1年生は2学期に、総合的な学習の時間で福祉に関する学習をしましたね。車椅子や松葉杖の人は、見た目では援助が必要と分かりますが、世の中には、外見では分からないけれど、援助を必要としている人がいます。

難病、義足や人工関節を使用している、内部障害・疾患、視覚・聴覚発達・知的・精神・高次脳機能障害、手術後、認知症、妊娠初期 などヘルプマークを付けている人に声をかけたり、見守ったりするなど、温かい心遣いができるといいですね。みんなで助け合える優しい社会、どの人も安心して過ごせる未来を、一緒につくっていきましょう。



